

月刊 アカサス ニュース

第42号 2000(平成12年).1

「アカサス」とは、古代ギリシャ・ローマに由来し、金沢大学の校章にも使われている植物の名称(和名「ハアザミ」)です。

“ 科学技術フォーラム ”で 社会に貢献する大学像を学ぶ

トップニュース Top News



12月9日、共同研究センター主催で、「科学技術フォーラム - LINK21 - 」が開催され、学内外から多くの教職員等が参加した。

21世紀を目前に、今、大学は地域社会などに対して、重要な役割を担っている。このフォーラムでは、産・官・学で共通の認識を持つことが、より一層、社会の貢献につながるとし、「産」と「官」の代表的立場からそれぞれ、産官学の研究開発事例や研究活性化へのトライアルの紹介等がなされた。研究をビジネスに活かすことの難しさなど、経験談を交えてのホットな話題提供は、参加者の関心を大いにかきたて、とても有意義な講演会となった。

「地球環境への対応」と題した講演を行う株式会社小松製作所の
あんざき 暁 取締役社長
安崎 暁 取締役社長
= 12月9日、工学部秀峯会館で



次々に飛び出す質問や意見に、にこやかにこたえる安崎社長(左)と大柿光司同専務取締役
= 同上



「地域の産業創出について」と題して熱弁をふるう岩田^{こういちろう} 紘一良石川県参事
(元石川県工業試験場長)
= 同上





巻頭言

年 頭 所 感



学 長
林 勇二郎

新年明けましておめでとうございます。心配されたY2Kは何事もなく、穏やかな正月を迎えることができました。多くの皆さん方にご協力とご苦勞をいただき大変有難うございました。

さて、西暦2000年は新千年紀のスタートであり、また21世紀に繋がる節目の年です。20世紀は戦争と科学技術の世紀であったと言われます。冷戦の終結は、民族間などでの新たな対立をもたらしてはいるが、一方ではEUに見られるようにボーダーレス化を促進している。他方、科学技術は人間の利便性を追求し続け、地球環境問題やネットワーク化された情報社会など、成長の限界とも言えるグローバル化を加速している。

即ち、行き着く処まで行ったのがボーダーレス化であり、グローバル化である。余りにも急激な変化の流れは、社会、政治、経済を混迷させるだけではなく、時には貴重な文化や伝統を埋没させ、その価値意識さえも喪失しそうな勢いである。経済や社会を安定させるための構造改革は必至である

うが、大切なことは人間らしさや地球らしさを取戻すために、自分達は今何をすべきかを真剣に問い直すことであろう。

大学を取り巻く情勢も大きく変わりつつある。大学は価値意識の鎮守の森として、ユニバーサルな学問研究を本流としつつ、そのうえで自分らしさの個性を求めて発展する必要がある。今、本学が進めている教養教育の充実、大学院の重点化、国際交流、大学間や社会との連携等々の改革は以上の考え方に立っているのもであり、それには総合を視野に置いた全学的な合意形成が大切であることは言うまでもない。

“はやい変化”に対応するためには、慎重さゆえの“熟慮”こそ肝要であり、この相反する要求が満たされるとき、グローバル化の中に本当の個性を見出すことができよう。“ゆっくり急げ Festina lente”を合言葉に、21世紀に向けた助走の年を歩き始めることにしよう。

“大学及び大学院改革”をテーマに講演会を開催

12月8日、医学部で、文部省高等教育局布村幸彦医学教育課長を講師に招いて、特別講演会「21世紀に向けた大学及び大学院改革と新しい育成体制の在り方」を実施した。大学・大学院改革を一層推進すること、とりわけ



医学系を中心にたくさん集まった教職員
= 12月8日、医学部で

医学教育の将来展望を探ることを目的に開催された同講演会では、「競争的環境の中、大学の個性化と教育研究の不断の改善、さらには21世紀に向けた医療人の育成が求められている」との講演に、参加した約180人は熱心に耳を傾けていた。



講演する布村医学教育課長
= 同左





平成12年度政府予算(案)内示

公共システム専攻(法学研究科) 保健学専攻(医学系研究科)の新設などが認められる

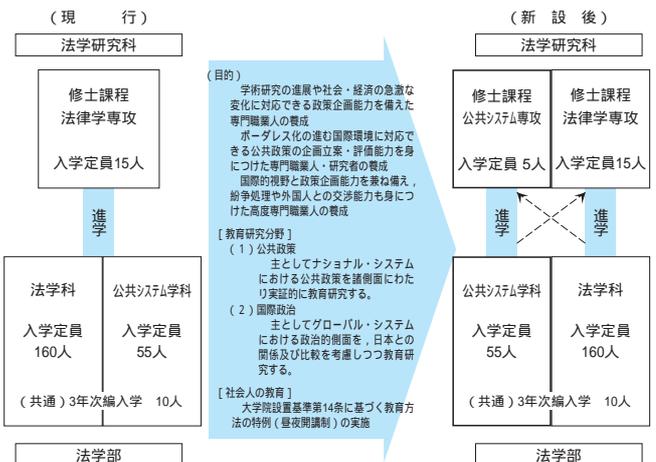
12月22日、平成12年度政府予算案が文部省から内示され、本学では、公共システム専攻(法学研究科)、保健学専攻(医学系研究科)の新設及び事務機構等の整備に伴う副学長の設置などが認められた。

平成12年度政府予算(案)内示の概要

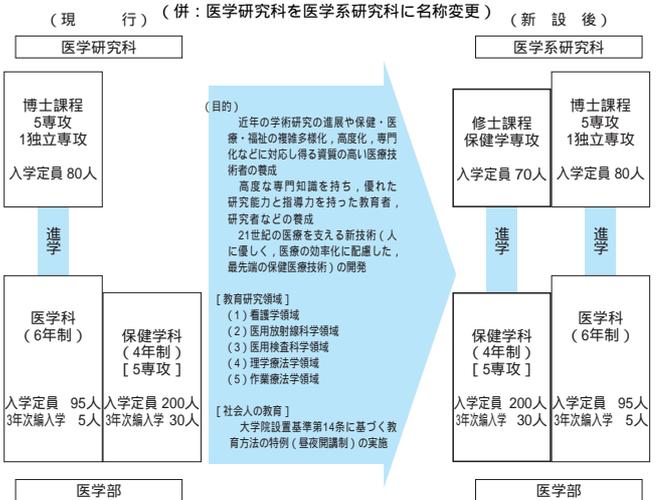
公共システム専攻(法学研究科)、保健学専攻(医学系研究科)の概要は右掲

大学院			
専攻(修士)の設置	(医学研究科を医学系研究科に名称変更)		
公共システム専攻(法学)	入学定員 5		
保健学専攻(医学系)	入学定員 70		
大学			
学科の改組(工学)(工学部設置準備)	50	10	6
電気電子システム工学科	入学定員 50	教授 10, 助教授 6, 助手 2	
情報システム工学科	入学定員 65	教授 13, 助教授 5, 助手 3	
教員養成課程の改組(教育)			
学校教育教員養成課程	入学定員 115		
障害児教育教員養成課程	入学定員 40		
人間環境課程	入学定員 40		
スポーツ科学課程	入学定員 30		
博士講座の増設(医学)			
救急医学講座	教授 1, 助教授 1, 助手 1	(1) 大学附属病院から1人振替	
流動研究部門への定員振替(理学)			
計算機実験学講座	助教授 1	(岡崎国立共同研究機構分子科学研究所への定員振替)	
第3年次定員改訂(工学)	入学定員 10	(工業教員養成課程からの振替)	
共通		教授 1, 助教授 1	
臨時増員の廃止			
工学部	入学定員 10		
留学生センターの整備	日本語・日本事情担当教官	教授 1	
副学長の設置	[1] 1は学生部長		
	[2] [] 書きは併任分		
事務局と学生部の一元化等			
	・事務局と学生部の一元化		
	・庶務部を総務部に名称変更		
	・学生部長の設置		
	・研究協力課の設置		
	・企画広報室の設置		
	・契約室の設置		
	・共通教育室の設置		
	・自然科学研究科事務部の設置		
	・教育学部附属学校事務部の教育学部事務部への一元化		
	・薬学部事務部とがん研究所事務部の統合		
事務組織の見直しによる合理化	一般職員 2		
学位授与機構への振替減	一般職員 1		
その他、学年進行分の教官増、臨時増員の廃止(10年度-11年度分)に係る教官の減などがある。			
大学附属病院			
治療管理体制の整備(医病)	医(二)技官 1, 医(三)技官 1		
総合診療部の整備(医病)	助手 1		
看護職員の増(医病)	看護婦 1		
講座増設に伴う減(医病)			
救急医学講座	助教授 1		
給食区分の変更(医病)	普通食 直営 買上		
研究所			
事務組織の見直しの伴う	薬学部・がん研究所事務部へ		
(1項) 国立学校への組織減			

金沢大学大学院法学研究科公共システム専攻(M.C)新設の概要



金沢大学大学院医学系研究科保健学専攻(M.C)新設の概要



特別講演会を通して “研究成果の社会的還元”について考える

12月21日、北海道大学先端科学技術共同センター客員教授の佐々木信夫氏を講師に迎え、「大学における知的創造サイクル-研究成果とTLO-」と題した講演会が開かれた。

独立行政法人化問題や大学の社会への開放・還元が求められている今日、佐々木氏は、元特許庁技監といった視点から、大学で得られた研究成果の産業化が重要であること、そのためには研究内容を特許権取得によって保護しなければならないことなどを強調した。



講演する佐々木氏
=12月21日、薬学部薬学講堂で



医学研究科 学位記授与式を挙行

12月7日、医学部で、大学院医学研究科の学位記授与式が行われた。今回、学位記を授与されたのは、博士課程修了者13名と論文審査合格者8名の計21名。



告辞を述べる林学長
= 12月7日、医学部で



学位記を授与する林学長
= 同左

教養教育機構研究調査部 公開授業等を開催

教養教育運営委員会研究調査部主催による公開授業と研究会が、このほど、2回にわたって開かれた。

これは、本年3月の第2回教養教育全学研究会の開催に先立ち行われたもので、第1回目は、古畑徹助教授(文学部)が「北陸史からアジア史へ」を授業科目に、大講義室での大人数講義の授業方法を課題として授業を实践、続く第2回目には、小人数講義の授業方法を課題に、青野透教授(法学部)が「ゼミナール 自分と向き合う社会認識」と題した授業を公開した。どちらの講義にも、本学の若手教官ら多数が出席し、授業方法等をめぐる意見交換が活発に行われた。



“大講義室の授業”が公開された第1回公開授業風景
= 11月26日、総合教育棟で

留学生懇談会で交流を深める!

12月14日、市内のホテルを会場に、林勇二郎学長主催の「金沢大学留学生懇談会」が盛大に催され、外国人留学生のほか、ホストファミリーや関係教職員など約300人が一同に会し、国を超えて思い思いに交流した。

懇談会では、外国人留学生による歌、本学吹奏楽団によるサックス4重奏、ボランティア団体による太鼓が披露された。



外国人留学生も飛び入りで参加した太鼓の様子
= 12月14日、KKRホテル金沢(金沢市大手町)で





実験動物慰霊碑建立除幕式・ 実験動物慰霊祭を執り行う

このたび、医学・薬学発展のため小さな命を捧げた実験動物の慰霊碑が建立され、12月21日、医学部長をはじめとする関係教職員・学生ら170人余りが参加して、除幕式が行われた。また、引き続き執り行われた慰霊祭では、教育研究のための実験に供された動物たちの霊に対し、参加者全員で黙とうをし、それぞれの想いを巡らせていた。



雪が舞う中、順次献花を行う関係者
= 12月21日、医学部附属動物実験施設前で

“語学研修”閉講式を実施

12月17日、事務局第3会議室で、受講者のレベルに応じ、約半年をかけて行われた「平成11年度語学要員養成研修」の閉講式が行われた。式では、吉田真言庶務部長から修了者4コース計15名一人ひとりに修了証書が手渡され、修了者の今後の活躍を期待する激励の言葉が贈られた。



修了証書を受け取る研修修了者
= 12月17日、事務局第3会議室で

北溟寮生，除雪に精出す！

突然の大雪で通学・通勤等に大混乱が起こった12月21日、北溟寮生有志は、寮前の道路の除雪を行った。

この道路は、車がやっと通れる位の狭い道で、積雪によって、車だけでなく人も難儀していた。また、近くの弥生小学校・泉中学校の児童・生徒の通学路にもなっており、除雪によって小さい子供たちも歩きやすくなった。

寮生のみなさん！また雪が降ったらお願いしたい。



一致団結して除雪を行う寮生
= 12月21日、北溟寮前で

12月の研修スナップ

文書実務研修

期 日：12月8日

受講者：文書作成に興味・意欲のある者 26名

場 所：事務局大会議室



公文書の作成について学ぶ
= 12月8日、事務局大会議室で



Y2K問題 - 24時間態勢で対応 -

金沢大学では、何が起こるか分からないとされる西暦2000年問題に対処するため、12月28日17時から1月4日8時30分まで「西暦2000年問題対策室」を角間ゲストハウスに設置し、交替で約30人の職員が泊り込み、“もしも...”の事故に対応をした。

また、医学部附属病院及びがん研究所附属病院でも、事前に入院患者の3日分の食料を確保するなど万全な態勢をとり、12月31日は、通常の3倍となる合計約370人が泊り込み、生命維持装置等の誤作動が起きた場合の処置など不測の事態に備えた。

その結果、何事もなく、無事2000年を迎えることができた。



問題が発生した場合の対処等について、打ち合わせする関係職員
= 12月28日、角間ゲストハウスで



紹 介

Introduction



KUPIS (キューピース) 情報

金沢大学ホームページ

本学「公式ホームページ」の面白い情報を紹介するコーナーです。

その10 掲示板システム

クリック順

トップページ ▶ 学部・部局等 ▶ 事務局 ▶ 事務局掲示板

現在、ペーパレス化の一環として、インターネットを利用した事務局掲示板が、試行運用されている。内容は今のところ、各部局スケジュール・施設等予約・簡単な通知などとなっており、この掲示板システムを利用するには、パスワードが必要。(詳細は、各部局庶務担当係までお問い合わせください)

なお今後は、教職員のいろいろな意見を取り入れることによって、よりよいシステムとなることを期待したい。

アドレスは -

<http://www.kanazawa-u.ac.jp>



掲示板の画面





数々の功績に表彰

医学教育等関係業務功労者表彰

このたび、医学教育等関係業務に顕著な功績のあった人に贈られる医学教育等関係業務功労者表彰の被表彰者として、本学から次の二人が選ばれた。二人は、大学病院関係業務に永きにわたって精励し、多大な貢献をしたことが評価された。



伊関美津子氏
(医学部薬理学講座)



笹島 正一氏
(医学部附属病院検査部)

幼稚園教育功労者表彰

新教育制度施行50年の節目を迎え、今春から新しい幼稚園教育要領が施行されることもあり、このほど、幼稚園教育の振興に功労のあった人に幼稚園教育功労者表彰が贈られることとなった。本学からは、永年、幼児教育の発展と幼稚園の整備充実に寄与したとして、元教育学部附属幼稚園副園長が選ばれた。



小泉 しげ氏
(元教育学部附属幼稚園副園長)

総合移転第 期計画事業進行中!

— 工事の最新の現状を写真でお伝えします。



平成10年10月，工事着手前



平成11年5月，調整池築提工事中



平成11年11月，造成前の樹木伐採

(本部棟から西側を見る)

編集後記

あけましておめでとうございます。

高度情報化社会が直面する最大の危機と言われていたコンピューター西暦2000年問題に対応するため、本学においても年末年始にかけて対策室が設置され、万全の態勢がとられました。今のところ何事もなく、ホッとして

います。対応に当たられた方々には、ご苦労さまでした。

一方、国立大学が直面している独立行政法人化問題は、これからが正念場ではないでしょうか。

2000年という節目の年が金沢大学のさらなる飛躍の年となるよう微力ながら頑張っていきたいと思います。(上梨)



附属幼稚園 もちつき大会

よいしょ。こらしよ。教育学部附属幼稚園で行われた「もちつき大会」の様子。



小さな身体で重たい杵きねをよっこらしよ！

ありったけの力を込めて...

THE DORAKU 14 中日ドラゴンズファンの会

11年ぶりにプロ野球セントラルリーグを制覇し、喜びいっぱいのファンが、12月13日、市内某所に集まり、中日ドラゴンズへの熱き思い、燃えるような応援の様子を語り合った。会には10名が参加、渡邊洋宇医学部附属病院長から託された優勝の記念品を持参した梨子田同附属病院総務課長も出席し、優勝記念品を前に、一同は垂涎すいぜんの喜びにひたった。

日本一は来年だ!! 北陸シリーズは応援ツアーを、名古屋ドーム観戦ツアーを計画する等、来季への応援ボルテージは上がるばかり。これほどの熱き仲間がいたのかと、ただ驚くばかり。

「我こそは...」のファンの方、一緒に盛り上がりませんか。(電話 264-5752 西田企画室長まで)

次回の集いは、来季開幕前に開催予定。多数の出席を待つものです。 吉田真言(庶務部長)



祝杯をあげる同志

このコーナーは、皆さんの趣味や熱中していることなどを紹介するコーナーです。写真や絵画に限らず、いろいろな作品や季節感あふれる話題などをお寄せください。いつでも撮影に出向きます。

平成12年1月21日発行
(原則として毎月1回第3週に発行)

〒920-1192 金沢市角間町
金沢大学庶務部庶務課研究協力・広報係

TEL 076-264-5019
FAX 076-234-4010

本紙の内容、その他本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ 愛称“KUPIS”(キューピース)」
(アドレス = <http://www.kanazawa-u.ac.jp>) でもご覧いただけます。
本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール(E-mail) = general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp でも受け付けています。